

事業番号

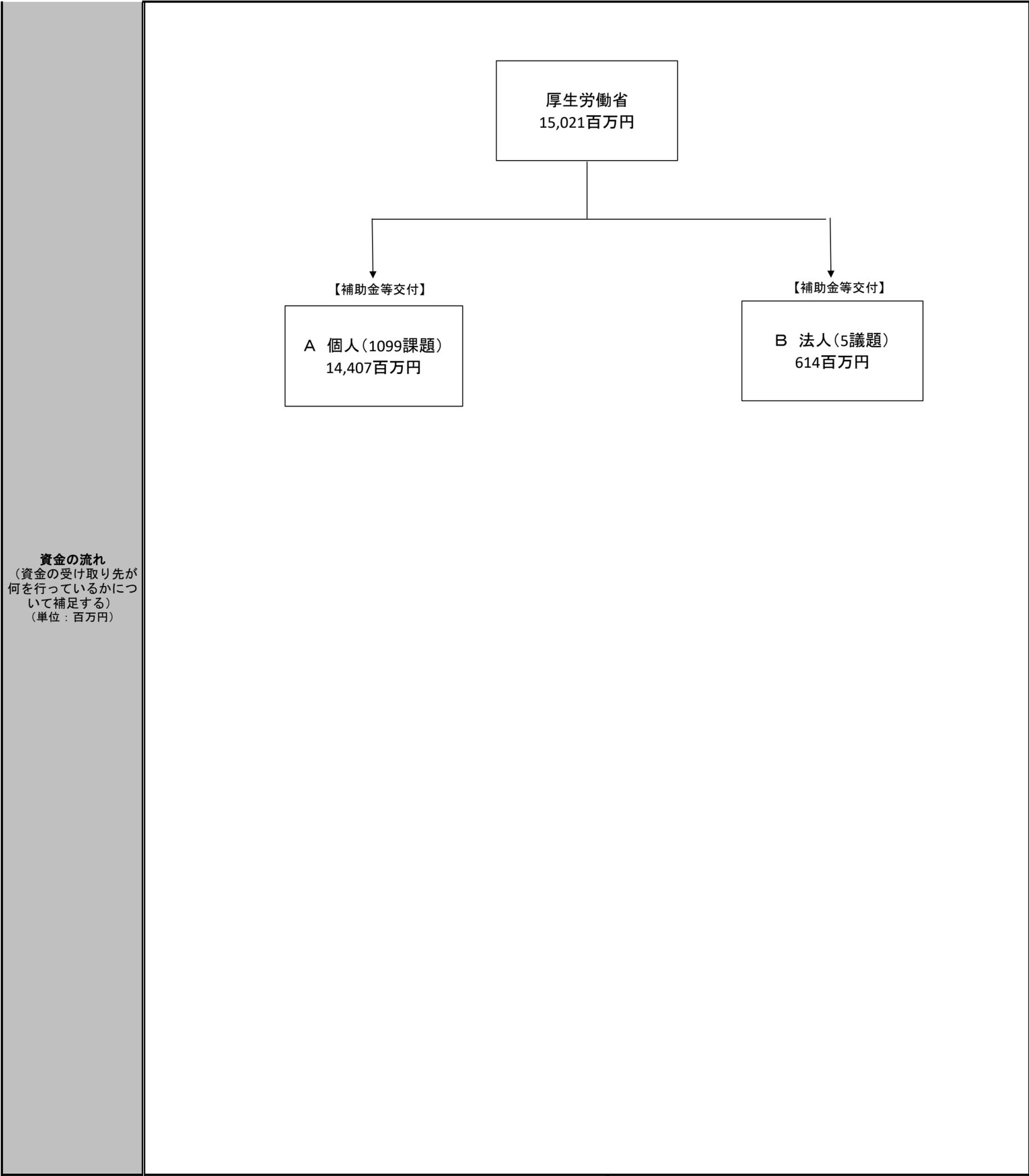
2023 - 消費 - 22 - 0045

令和5年度行政事業レビューシート		( 消費者庁 )					
事業名	食品衛生基準科学研究費補助金(食品衛生基準行政推進調査事業費補助金を含む)		担当部局	健康・生活衛生局(厚生労働省)		作成責任者	
事業開始年度	昭和26年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	食品基準審査課(厚生労働省) 消費者安全課(消費者庁)		
課長	近藤 恵美子						
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120447.html		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(令和3年3月26日閣議決定)</li> <li>「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成28年12月21日内閣総理大臣決定)</li> </ul>			
政策	施策目標2 研究を支援する体制を整備すること		主要経費	科学技術振興費			
施策	厚生労働科学研究事業の適正かつ効果的な実施及び医薬品等の研究開発の促進並びに保健衛生分野の調査研究の充実を図ること(XIII-2-1)						
政策体系・評価書URL	https://www.mhlw.go.jp/wp/seisaku/hyouka/keikaku-kekka.html#hyouka						
事業の目的(5行程度以内)	食品衛生基準科学研究の振興を促し、もって、食品の安全に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とする。						
現状・課題(5行程度以内)	食品衛生基準科学研究の振興を促し、もって、食品の安全に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ることを目的とし、大学や国立・民間の試験研究機関に所属する研究者を交付対象とする補助金であり、国民の健康を守るために一層資する研究がなされるよう、政策等への活用の観点も踏まえた研究成果の的確な評価委員会における評価及び評価結果を踏まえた研究の推進を図る必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	<p>①食品衛生基準科学研究費補助金:国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。なお、研究課題の採択は、原則として公募で行い、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。(定額補助)</p> <p>②食品衛生基準行政推進調査事業費補助金:国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。食品衛生基準科学研究のうち、行政的緊急性が高いものや専門的・学術的観点等から研究を実施するものを指定する研究について、専門家による評価結果に基づき、研究課題の採択の可否を決定している。これにより、食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施に資するもの。(定額補助)</p>						
事業概要URL	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120447.html						
実施方法	補助						
補助率等	定額						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	9,615の内数	9,362の内数	9,422の内数	9,444の内数	307
			5,791の内数	4,189の内数	3,890の内数	-	
		前年度から繰越し(C)	1,474の内数	3,403の内数	4,327の内数	3,999の内数	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲3,403の内数	▲4,327の内数	▲3,999の内数	-	
		予備費等(E)	1,463の内数	1,567の内数	1,629の内数	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	14,440の内数	14,194の内数	15,269の内数	13,443の内数	307
執行額(G)	14,400の内数	13,909の内数	15,021の内数				
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	厚生労働科学研究費補助金			要求額のうち「重要政策推進枠」51 2022-厚労-21-1016(参照) 令和2年度から令和5年度は厚生労働科学研究費補助金の内数 なお、令和5年度以前の予算の執行等は、移管元である厚生労働省において実施。		
	(目)	厚生労働行政推進調査事業費補助金	3,321の内数				
	(目)	厚生労働科学研究費補助金	6,123の内数				
	(項)	消費者庁政策費					
	(目)	食品衛生基準科学研究費補助金		237			
	(目)	食品衛生基準行政推進調査事業費補助金		70			
	その他						
	計(A)	0	307				

活動内容① (アクティビティ)	国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	採択件数 ※研究課題については、研究分野によって1課題当たりの規模・補助額が異なり、また、専門家の評価により変動しうるものであるため、採択件数を予め見込むことは困難。	活動実績	件	-	-	-	-	-	
当初見込み			件	-	-	-	-	-		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民、社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度		
	食品衛生基準科学分野における研究開発成果をより多く国民、社会へ還元すること。 ※研究成果の活用状況はさまざまであるが、そのひとつの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	研究成果の活用状況 食品衛生基準科学研究データベース (閲覧システム)へのアクセス件数 (前年度以上) ※目標値は令和4年度厚生労働科学研究データベースのアクセス件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	2,702,799		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食品衛生基準科学研究データベース									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。 そのためにも研究開発成果をより多く国民、社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元 の指標として学術的価値のある1課題あたり原著論文件数を指標として設定している。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	食品衛生基準科学分野における研究開発成果をより多く国民、社会へ還元すること。 ※研究成果の活用状況はさまざまであるが、そのひとつの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	年度終了課題の研究開発成果のうち論文数 ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数を 予め見込むことは困難。	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	食品衛生基準科学研究データベース									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)		国内の試験研究機関や大学等に所属する研究者に対して、当該研究に必要な経費の補助を行っている。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		食品衛生基準行政の中でも社会的要請の強い諸問題に関する研究の実施	採択件数 ※研究課題については、研究分野によって1課題当たりの規模・補助額が異なり、また、専門家の評価により変動しうるものであるため、採択件数を予め見込むことは困難。	活動実績	件	-	-	-	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	-	-
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。そのためにも研究開発成果をより多く国民、社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開できているかを図る指標としてアクセス件数を設定している。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		食品衛生基準科学分野における研究開発成果をより多く国民、社会へ還元すること。 ※研究成果の活用状況はさまざまであるが、そのひとつの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	研究成果の活用状況 食品衛生基準科学研究データベース (閲覧システム)へのアクセス件数 (前年度以上) ※目標値は令和4年度厚生労働科学研究データベースのアクセス件数	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	2,702,799	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		食品衛生基準科学研究データベース								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		科学・技術の優れた成果を絶え間なく創出し、我が国の科学・技術をより一層発展させるためには、科学・技術の成果を国民に還元するとともに、国民の理解と支持を得て、共に科学技術を推進していく姿勢が不可欠である。そのためにも研究開発成果をより多く国民、社会に還元する必要がある、食品衛生基準科学研究の研究成果を広く国民に情報公開を行う中で、さらに社会への還元指標として学術的価値のある1課題あたり原著論文件数を指標として設定している。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		食品衛生基準科学分野における研究開発成果をより多く国民、社会へ還元すること。 ※研究成果の活用状況はさまざまであるが、そのひとつの例として、成果指標を右記のとおり定め、定量的な評価を行う。	年度終了課題の研究開発成果のうち、学会等での議論を深める一助となったもの (1課題あたり学会発表件数(国内・国際学会合計)) ※研究課題によっては学術的な成果のみが目的でないものも含まれるため、件数を予め見込むことは困難。	成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		食品衛生基準科学研究データベース								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									





**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

費目	A.		費目	B.	
	使 途	金 額 (百万円)		使 途	金 額 (百万円)
委託費	国立病院機構本部等	617	物品費	設備備品費、消耗品費	130
間接経費	研究遂行に関して必要な経費	190	間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	79
物品費	設備備品費、消耗品費	10	委託費	八洲薬品株式会社等	76
人件費・謝金	人件費・謝金	7	人件費・謝金	人件費・謝金	54
その他	印刷製本費等	1	旅費	国内旅費	3
計		825	計		342

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	研究者A	-	新規新型コロナウイルスを含むコホート調査並びに副反応シグナル全国調査	825	補助金等交付	-	--	
2	研究者B	-	全ゲノム解析を基盤としたがんゲノム医療の実装に向けた患者還元・解析・データセンター、ELSI体制構築についての研究	562	補助金等交付	-	--	
3	研究者C	-	新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充/創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発	229	補助金等交付	-	--	
4	研究者D	-	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	220	補助金等交付	-	--	
5	研究者E	-	次世代バイオデータ基盤の構築に向けたデータ連携の概念実証	154	補助金等交付	-	--	
6	研究者F	-	再生医療等製品(安全性等の評価方法)に関する国際標準化	150	補助金等交付	-	--	
7	研究者G	-	医療機器(安全性等の評価方法)に関する国際標準化	147	補助金等交付	-	--	
8	研究者H	-	バイオテロ対策のための備蓄されている細胞培養症そうワクチンの備蓄等、バイオテロ病原体への検査対応、公衆衛生との関連のあり方に関する研究	143	補助金等交付	-	--	
9	研究者I	-	国際標準化支援の抜本強化	140	補助金等交付	-	--	
10	研究者J	-	ワクチンの有効性・安全性と効果的適用に関する疫学研究	131	補助金等交付	-	--	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	9120905002657	政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)	342	補助金等交付	-	--	
2	公益財団法人エイズ予防財団	9010005016602	エイズ対策政策研究推進事業	136	補助金等交付	-	--	
3	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	9120905002657	政策科学総合研究事業(臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業)	120	補助金等交付	-	--	
4	一般社団法人日本産業保健法学会	4700150102959	政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業)	12	補助金等交付	-	--	
5	公益社団法人日本食品衛生学会	2011005003308	食品の安全確保推進研究推進事業	5	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	